

特定非営利活動法人

## おかやま人権研究センター・ニュース

発行 センター事務局 2012. 3. 10 第18号

### 教育部会報告 自由社版中学校歴史・公民教科書の問題点 No.3

報告 小出隆司氏

今回の報告は、自由社らの教科書批判のポイントを整理し、不採択運動の基本になるべき視点を明らかにするものでした。

#### 1、埋められないアジアの教科書の記述との明らかな違い

韓国や中国の教科書には、はっきりとかつ克明に日本帝国主義の侵略の歴史が、史実に基づいて書かれている。将来グローバル化のただ中に生きる子どもたちは、アジアの人達と友好的な関係をつくって生きてゆかねばならない。その時、戦争の事実を歪曲した自由社版知識しかもたない場合大きな齟齬を生じる可能性がある。また、現場の教師はその齟齬を埋めるのにたいへんな努力を強いられる。

#### 2、東京書籍判教科書の無断盗用の問題

これについては、自由社が認め謝罪している。教科書作成時における不当な盗用を広く知らせていく必要がある。

#### 3、採択方法の不当性

八重山では、教育長と教育委員会をすえかえ採択した事実がある。この強引な採択方法の不当性を指摘する必要がある。

それに加えて、このような強引な方法が行われた地域の特色、沖縄八重山地区の米軍基地中心の経済構造、そこにある特殊な貧困構造に目をむけなければならない。これは日本の各地域の特殊性に目配りすることの必要性に繋がることはいままでもない。

#### 4、現行の教科書採択の行程の問題

現在の教科書採択について、地域に個別の内規があり、それにのっとっておこなわれてきた事実がある。慣行の力に依拠した対抗を組織し、採択を阻む運動をつくることはできないか。

以上が、小出氏の報告概要です。小出氏の報告は回を重ねるごとに、熟成していきパワーアップしてきました。これをひとりでも多くの現場で悩んでいる教師、仕事に忙殺されている心ある教師のもとに届けたいと思います。そしてまた、地域ぐるみで語り合う機会をつくりたいと切に思います。

#### 春の読者会

日時：5月27日（土）13:30～16:00

会場：民主会館2階

終了後総会を行います。多数のご参加をお願いします。